

広報 ただみ

11
2024 月号
No. 654
令和6年11月10日



今月の表紙

【只見町駅伝競走大会】

只見町駅伝競走大会が開催され、秋晴れの下、選手たちが駆け抜けました。また、沿道には多くの方が駆け付け、選手に熱い声援を送りました。
(関連記事：P 6)

《特集》

うまいもんまつり開催 …… 2～3

《News&flash》 …… 4～5

《町の話》 …… 6～8



町内外のうまいもんが集結 うまいもんまつり開催!!



「自然首都・只見 水の郷うまいもんまつり」が9月28日、29日に開催され、キッチンカーや応援店を含め21店舗が会場に軒を並べた他、商工会員PRコーナー、電源開発PRコーナーも設置されました。

28日には桐蔭学園（横浜市）の鉄道研究部による「ミニ只見線」乗車体験が行われ、子どもから大人までミニ只見線を楽しみました。今回のミニ只見線では、只見線こども会議からの依頼で作成されたリゾートしらかみ撫編成のミニ鉄道が運行しました。

29日には、只見町とのふるさと交流都市提携30周年を迎えた柏市からのツアーの皆さんも会場を訪れ、うまいもんやイベントを楽しみました。また、柏市から只見町に交流30周年を記念し、「カシワ（柏）の木」が贈られました。また、柏市ツアーの皆さん、只見町民、来場者らが一緒に柏おどりで交流を深めました。



うまいもんまつり1日目 (9月28日)



コーラスフルールが美しい歌声で会場を魅了しました



つくし会、はぎの会、瞳の会の皆さんが素敵な舞を披露しました



只見音研歌謡ショーでは「只見の空」が披露され、子どもたちが踊りました



長浜女子和楽坊はスコップ三味線と太鼓の音色を会場に響かせました



一条貴太さんのファンサービスに会場が沸きました



『ようこそ只見町へ』歓迎花火が夜空を彩りました

うまいもんまつり2日目 (9月29日)



天領只見仙嶽太鼓の迫力ある演奏から2日目が始まりました



神居塾の子どもたちが型や板割りを披露しました



只見町商工会青年部と小出商工会青年部、町内外の子どもたちが神輿を担ぎました



舞と津軽の響きでは、三味線の生の音を堪能しました



ひろとあゆShortLIVEでは来場者が演奏と歌声に聞き入っていました



とよのみさこさんの歌声でうまいもんまつりが締めくくられました

災害時に取るべき行動を考える

只見町防災セミナー「災害を忘れない」開催

第2回只見町防災セミナー「災害を忘れない」が10月11日に明和公民館で開催され、約30人が参加しました。

今回のセミナーは、日本赤十字社福島県支部の野崎謙司氏を講師に招き、災害図上訓練を行いました。

災害図上訓練では、グループに分かれ、只見町の地図を使用し、危険箇所や災害時に手助けが必要な人がいる箇所の確認などを行い、災害時にどのような行動をすべきかについて意見交換をしました。

野崎氏は「命を守るために、被害を減らす『減災』が大切です」と話し、日頃から危険箇所の確認をしておくことなどの大切さを伝えました。



▲講師を務めた野崎氏



▲図上訓練で様々な情報が集まった地図



▲意見交換をしながら、地図上に危険箇所などを書き込む参加者

地域に寄り添う社会貢献

明治安田生命「私の地元応援募金」

明治安田生命保険相互会社坂下営業所から町に、691,400円が寄附されました。

明治安田生命保険相互会社では、社会貢献運動「私の地元応援募金」を実施しており、今回はその事業の一環で、従業員からの募金に同社からの寄附金を合わせ、町に寄附されました。

目録を手渡した月田所長は、「この寄附活動が只見町の元気に繋がって欲しいです」と話しました。有効に活用いたします。ありがとうございました。



▲なお、只見町と明治安田生命は「健康増進に関する連携協定」を結んでいます

地域住民の安全な生活確保を目指す

県道小林・館の川線改良促進期成同盟会が要望活動

県道小林・館の川線改良促進期成同盟会は、10月9日に県南会津事務所や県庁、県議会を訪問し、県道小林・館の川線の整備促進についての要望をしました。

当要望活動では、同県道が重要な生活路線であり、国道289号の代替性を有する路線でありながら、小林・亀岡間は未改良で落石の恐れや幅員が狭く、また熊倉・小川間は改良済みではあるものの雪崩のため冬期通行止めになってしまうことから、それらに対する改良や整備を要望しています。



▲佐藤副知事に要望書を手渡しました

命をつなぐ

新潟県三条市、新潟県央基幹病院、只見町 連携協定締結

只見町は10月1日に、新潟県三条市と同一市にある新潟県央基幹病院と連携協定を結びました。

本協定は、国道289号八十里越道路が令和8年秋～9年夏頃に開通することを見据えたもので、現在町内からの主な救急搬送先は南会津病院や会津若松市内の病院となっていますが、八十里越えを通り、新潟県央基幹病院に救急搬送することが可能になれば、搬送時間の短縮が見込まれます。

本協定により、国道289号八十里越道路の開通後、新潟県央基幹病院にも只見町からの救急搬送の受け



▲八十里越が開通することで、三条市への距離が近くなります



▲開通に向けて工事が進む八十里越道路



▲協定を交わした三者（右：滝沢市長、中：渡部町長、左：遠藤病院長）

入れにご協力いただけるようになります。これに対し町は、三条市、新潟県央基幹病院の医師育成・確保に協力していきます。

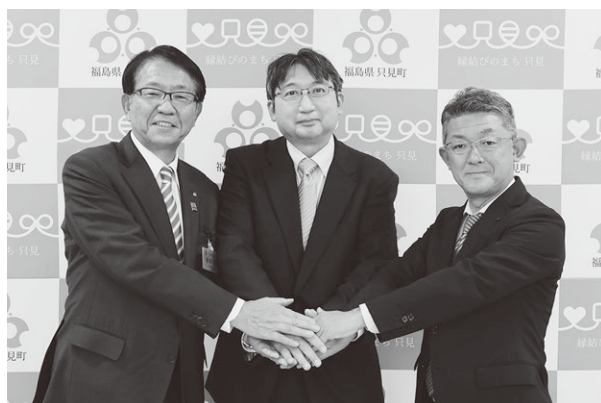
朝日診療所に常勤医師

朝日診療所所長に城医師が着任

城大祐医師が朝日診療所所長に11月1日から着任しました。

朝日診療所は、令和6年9月末で常勤医師が退任され、10月からは、福島県や近隣医療機関の協力により、非常勤医師のみで外来診療を行っていました。

地域医療の存続のため、県の「ふくしま医師移住定住促進事業」の「ドクターバンクふくしま」を通じ、常勤医師募集を行ったところ、城大祐医師に11月から朝日診療所に勤務いただけることとなりました。



▲1日から朝日診療所所長に着任した城医師（中央）と調印式立会人の県医療人材対策室の風間室長

ごあいさつ

町民の皆さんに温かくお迎えしていただき、感謝しています。

病気の症状が出始めてからの診療はもちろんですが、病気にならないための予防でも皆さんのお力になりたいと考えています。

これからよろしくお祈りします。



じょう たいすけ
城 大祐 医師

城医師の着任にあたり、町は城医師と「朝日診療所所長業務契約」を締結し、県医療人材対策室の立会いで、調印式が10月30日に役場町下庁舎で行われました。

城医師は、ドクターバンクふくしまを通じて県内医療機関に着任した最初の医師となります。

城医師は週4日勤務で、火・金曜日の診察予定です。

県内各地から選手が集まりました

「第7回只見カップビーチバレー大会」開催

福島県ビーチバレーボール連盟の主催で「第7回只見カップビーチバレー大会」が9月21日、22日に、亀岡サンドバレーコートで開催されました。

大会は、4人制ジュニア部門（男子・女子・ミックス）に延べ40チーム以上、2人制ジュニア部門（男子・女子）延べ50チーム以上が参加し、大盛会の大会となりました。



▲只見カップに参加した皆さん

練習の成果を惜しみなく発揮しました

南会津町小学校陸上競技大会に町内3小学校が参加



▲会場が変わり雰囲気も変わったなかでも、本気で競技に取り組み、ベストを尽くしました

南会津町小学校陸上競技大会が10月3日にびわのかげ運動公園多目的競技場で開催され、町内3小学校の5、6年生が参加しました。

昨年までは、町内3小学校が集まり陸上大会を行っていましたが、本年度から同大会に編入して行うこととなり、南会津郡内の小学校が一堂に集まり競技する形になりました。

町内3小学校はウォーミングアップを一緒に行うなどし、交流も深まった大会となりました。

秋晴れの下、タスキを繋ぐ

「第58回只見町駅伝競走大会」開催

只見町スポーツ協会の主催で「第58回只見町駅伝競走大会」が開催され、町内外から29チームが参加しました。

今年は、1・3・5区走者が只見線広場を折り返し、2・4・6区走者が町下橋を通り只見川農村公園を折り返しとする総距離約15kmのコースとなりました。

開会式では、鈴木スポーツ協会長は「実力を惜しみなく発揮してください」と選手を激励し、只見中学校3年生の三瓶叶翔さん、矢沢栞さんが選手宣誓をしました。

なお、各部門1位は以下の通りです。



▲タスキをつないだ選手

各部門1位チーム

中学男子	中学女子	一般男子	一般女子	男女混成
只見中 男子駅伝部D	只見中 女子駅伝部	Runベ	只見うるわし☆ レディース	会津中央病院

町内小中学校の児童生徒が学習の成果などを発表

町内小中学校学習発表会・文化祭 開催

町内3小学校の学習発表会（朝日小・明和小10月12日、只見小26日）と只見中学校文化祭「紅葉祭」（19日）が開催され、保護者や祖父母の他、地域住民が会場を訪れました。

小学校の学習発表会では、体育や音楽の授業で学んだことを劇や演奏の形を通して発表した他、校歌発表などが行われました。

中学校の文化祭「紅葉祭」では、英語弁論大会やビブリオバトルに参加した生徒の発表、総合的な学習の時間で学んだことの発表、有志生徒による発表が行われました。



▲只見小は全校生徒で大竹涼華さん作詞作曲の只見線応援ソング「大切な場所があるレールウェイ」を合唱しました

頑張る只見中学生

郡英語弁論大会第1位&第2位受賞



▲受賞報告をした大束さん(中)と角田さん(右)

第52回南会津郡中学生英語弁論大会が8月27日に下郷ふれあいセンターで開催され、只見中学校の大束芽衣さん（2年）が暗唱の部で第1位、角田杏さん（2年）が創作の部で第2位を受賞しました。

また、大束さんは南会津郡の代表として、第73回福島県下中学校英語弁論大会に出場し、暗唱の部で第3位に選ばれました。

大束さんと角田さんは、10月22日に町役場を訪れ、結果報告と英語弁論大会での発表内容を職員の前で披露しました。

○英語弁論大会…英語の教科書の内容などを暗唱する暗唱の部と自身で発表内容を考え発表する創作の部があり、持ち時間5分の中で発表し、英語力の他、ジェスチャーや声の大きさといった表現力なども評価されます。

ティラノサウルスが走って飛ぶ

秋のティラノ(笑)運動会 開催

「第1回秋のティラノ^{しょう}(笑)運動会」が10月13日に亀岡サッカー場で開催され、多くのティラノと観覧者が集まりました。

運動会は、約20体のティラノによる迫力のある入場行進から始まり、30メートル走やなわとびなどの競技が行われました。

参加したティラノ（中の人）は「想像していたよりも楽しかったです。ぜひ次回も開催して欲しいです」と話しました。



▲念入りに準備運動をするティラノたち

画家・吉田瑠美さんが描く

「アミが見ていた只見町の景色」が会津塩沢駅を彩る

会津塩沢駅の壁にウォールペイント（壁画）「アミが見ていた只見町の景色」が完成しました。

制作したのは、映画「青春18×2 君へと続く道」のヒロイン・アミの描く絵を担当した吉田瑠美さんです。

吉田さんのもとに、映画を見た只見中学生から「アミの故郷である只見町に絵を描いてほしい」とのお願いが届き、制作に至りました。

吉田さんは、「制作中に、町の皆さんが声をかけてくださったりと温かさに触れ、只見町は私にとって大切な場所になり、皆さんの思いに応えたい気持ちがさらに深まりました。この場所が、皆さんにとって素敵な場所になって欲しいです」と話しました。



▲ウォールペイントを制作した吉田さん

未来に事業をつなぐ「事業承継セミナー」開催

只見町商工会の主催で、「『事業承継【事業継続】セミナー』～早目の事業引き継ぎが選択肢を増やす～」が朝日公民館で開催され、町内外の事業者約20人が参加しました。



▲第1部で講師を務めた阿部さん(左)、第2部パネリストの渡部さん(中左)、菅家さん(中右)、三瓶さん(右)

セミナーの第1部では、中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザーの阿部憲夫さんが、事業承継の実態とポイントについて解説し、目に見えない自社の価値（強み）を考えることの大切を伝えました。

第2部では、阿部さんを進行役に、若くして事業承継をした町内の3事業者によるパネルディスカッションが行われ、早めに事業を引き継ぐメリットや、引き継ぐ際の苦労など実体験を基にした話があり、事業承継について考えるセミナーとなりました。

チーム一丸となり戦い抜きました

市町村対抗県野球・ソフトボール 結果報告会

市町村対抗福島県軟式野球及びソフトボールの只見町チームの結果報告会が10月24日に役場庁舎で行われました。

軟式野球チームは、1回戦の相馬市に2対0で勝利しました。次戦は今大会準優勝の小野町が立ち上がり惜しくも2回戦敗退となりました。

ソフトボールチームは、1回戦の大玉村に4イニング目に追いつかれたものの6イニング目に3点を追加し勝利をあげました。2回戦の三春町に只見打線が振るわず、2回戦敗退となりました。



▲両チームの監督は「1回戦は勝ち上がる力がある。2回戦のカベを越えられるように頑張りたい」と来年の意気込みを話しました

地域おこし協力隊として Vol.115

只見町教育振興協力隊 はらなが まど か
原永 円香



近年、日本各地で民具に関する問題が話題になっています。收藏スペースや人員、予算の不足によって、廃棄も含めた再整理を迫られているのです。只見町は、民具の収集から調査カードの記入までを、町民が主体で行ったことで有名で、「只見方式の民具整理」と呼ばれています。そのため、民具収集の成功事例として取材を何件か受けました。過去から現在まで、只見町民は、民具に対する意識が、他地域よりも高いと感じています。そんな只見町も、民具の收藏スペース不足など、問題がないわけではありません。民具をどのように展示し、保存活用していくか考えるために、いろんな展示を見に行っています。例えば、ただみ・モノとくらしのミュージアムをはじめとする博物館のみならず、現代美術のフィールドでも民具は活用されています。

新潟県の十日町市と津南町では3年に1度「大地の芸術祭」という国際芸術祭を開催しています。この芸術祭の作品には、民具を利用した例がいくつもあります。例えば津南町の逆巻集落には、“越後妻有「上郷クロープ座」”という施設があります。その施設内に、岡淳＋音楽水車プロジェクトの『農具は楽器だ！』というプロジェクトがあります。地域から譲り受けた民具を楽器に改造しており、自動演奏の楽器や、自分で演奏できる楽器が設置されています。トウミ（唐箕）のハンドルを回してオルゴールのように音を鳴らしたり、コウシキを木琴のようにバチでたたいたりすることができます。一方で、十日町市の高倉集落には、力五山の『時の回廊 十日町高倉博物館』という作品があります。この作品は、地域の民具を保管している旧高倉小学校体育館を舞台に展開されています。保管されている民具を含めた空間全体を利用したもので、会場では高倉集落の住民が、民具について話している音声流されています。そこで説明されている民具は、光で照らされる演出がなされていました。体育館の真ん中には木で作られた回廊があり、歩くことができます。

民具の形を変えた上で作品としている事例と、民具自体を作品にしている事例を挙げてみました。民具をどのように活用していくべきか、考えながら活動していますが、地域の宝として、皆さんにも民具の活用について少しでも考えていただけると嬉しいです。

犯罪被害にあわれた方やご遺族の方へ

只見町犯罪被害者等見舞金等制度

殺人や傷害などの故意の犯罪行為により亡くなられた方のご遺族や重傷病を負われた方が、被害直後に直面する経済的な負担の軽減を目的とした見舞金等制度です。

見舞金等の種類	金額	対 象 者
遺 族 見 舞 金	60万円	犯罪により死亡した方の第1順位遺族
重症病見舞金	30万円	犯罪により重症病を受けた方 ※負傷や疾病により、療養に要する期間が1か月以上かつ通算3日以上入院（精神疾患の場合は、通算3日以上労務に服することができない）と医師に判断された方
転居費用助成金	20万円	見舞金に該当する方のうち、犯罪により従前の住居に居住することが困難になり、新たな住居へ転居される方

※いずれも、犯罪被害の原因となった犯罪行為の行われたときに、只見町内に住所を有する被害者又はご遺族であること

※令和6年10月1日以降に発生した警察に届出済みの犯罪による被害であること

※この他にも要件があります

詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

問合せ先：町民生活課 生活安全係

電話 0241-82-5100 メール seikatsu@town.tadami.lg.jp

町民文芸

只見短歌会

令和六年十月詠草

日々眺む浅草岳の残雪が消ゆれば間近新雪降るとふ

目黒 富子

十月に入りて山並み車窓越し紅葉初めし心和みぬ

関谷登美子

恥ずかしき気持ちはとうに捨て去りて子供と踊る流行りのダンス

立花 奏音

朝の日の長く入りて秋を知る昼の温度は変はらず暑し

新国由紀子

カメムシの異常発生を人等皆会話するのは深雪の心配

渡部ヨリ子

只見俳句会

十月定例会

日高俊平太 指導

人声に鯉の寄り来る秋の池
行く秋や名優の死を語り継ぎ

恒 夫

孫が子を抱いてうたた寝掘炬燵
小さき子に負けた真似するかるたとり

一 穂

みんなみん蝉四回鳴いて伸ばしけり
秋の雲トロツコ電車軋みおり

修 一

秋澄むや満蒙の歴史訪ねる
亡き友の思い出語る秋の暮れ

信

読み返す一行一行残暑かな
秋立つや先生のヒゲ剃ったらし

都

遠山をくるむ雲あり刈田道
長き夜や作家きどりの鼻めがね

味代子

鬼やんま羽化をみている通学路
槌音の心地よきかな郷の秋

一 恵

草刈を終えて手に持つ赤詰草
五時からの飯前仕事に西瓜切る

真理子

夕月や雲流れ行く過ぎし日を
秋雨ににじを見つめてぬくもりを

睦 子

良く動く物干に来て冬雀
母おわす如故郷よ日向ぼこ

礼

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課	町民税務係	☎82-5110
	生活安全係	☎82-5100
保健福祉課	保健係	☎84-7005
	福祉係	
	成年後見制度利用促進室	☎84-7010
農林建設課	農林係	☎82-5230
	建設係	☎82-5270
	薪エネルギー推進室	☎82-5230
交流推進課	観光係	☎82-5240
	商工労働係	
移住交流係	ユネスコエコパーク推進係	
	(ただみ・ブナと川のミュージアム内)	☎82-5963
会計室		☎82-5120
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
朝日保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111

税 今月の納期

11月25日までに

納めましょう

- 町民税(3期)
- 国民健康保険税(5期)
- 農集排使用料(11月分)
- 介護保険料(5期)
- 後期高齢者保険料(4期)

お知らせ

無料調停相談会

会津若松調停協会主催の無料調停相談会を開催します。

金銭・土地賃借、建物の明け渡し、
相隣関係・損害賠償等の民事に関する調停申立や離婚・子の監護養育・
離縁・扶養・相続問題等の家事に関する調停申立の相談に応じます。事前予約不要で、秘密は厳守されます。お困りの方はご利用ください。

【日時】

令和6年11月20日(水)

午前9時30分から午後6時まで

【場所】

会津若松市城東町14-52
会津若松市文化センター

【費用】

無料

【申込方法】

当日会場で申込(予約不要)

【問合せ】

福島地方裁判所

会津若松支部庶務課

☎0242-2615725

国内での化学物質規制の見直し

労働安全衛生法関係法令の改正により、令和6年4月1日から職場における化学物質規制が、大きく見直しとなっています。

【変更(改正)のポイント】

○化学物質の製造事業者およびそれを取り扱う事業者における危険性・有害性に関する情報の伝達が強化されます。

○事業者は、その情報に基づいてリスクアセスメントを行い、化学物質によるばく露防止対策を実行する必要があります。

○今後、数年かけて、SDS(※1)やラベル(※2)の交付対象物質が約900物質から約2,300物質に拡大します。

○事業場によっては、新たに「化学物質管理者」の選任義務が発生します。

※1 SDSとは、Safety Data Sheet

の頭文字をとったもので、事業者が化学物質および化学物質を含んだ製品を、他の事業者に譲渡・提供する場合に交付する、化学物質の危険有害性情報を記載した文書のことです。

※2 ラベルとは、SDS情報を簡略化し、化学品の危険有害性の種類や程度に関する情報を、容器や包装に貼り付けたもののことです。



「ケミサポ」にアクセスします

【問合せ先】

事業者のための化学物質管理無料相談窓口
☎050-5577-4862





広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆ようやく明るい報告をさせていただくことができるようになりました。

常勤医師が不在になるというお知らせをしてから、この間町民の皆様には大変なご心配をおかけいたしました。

また、当時も今も変わらず応援していただいている南会津病院、宮下病院、柳津診療所及び福島医大の先生方に改めて心から感謝申し上げます。

この度、朝日診療所の所長（兼介護老人保健施設こぶし苑施設長）に11月から城 大祐（じょうたいすけ）医師にご就任いただきました。

ここに至るまでには、福島県のご支援や関係者の皆様の多大なお力添えがあったことはもちろんですが、何と言っても城先生にご決断いただいたお陰であることを改めて報告させていただきます。

知らない土地でご不安もある中でのご決断だったと思いますので、どうか皆様には、医師が町内におられることがどれだけ日常生活に安心感をもたらすか、そしてその体制を維持するのが難しい時代になってきているか、少しでも思いを巡らせていただければ、大変ありがたいと思います。

改めて、城先生を心から歓迎し、温かな関係の中でご活躍いただけるよう共に努めていきますよう。

また町としても、引き続き更なる常勤医師の確保と医療、看護、介護の連携と体制充実に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

町長スケジュール〈10月分〉



- | | | | |
|-------|---|-------|---|
| 1 日 | 南会津地方振興局長来庁、地域枠に係る医学生及び卒業医師の養成に関する協定締結式（新潟県三条市） | 2 2 日 | 福島県市町村総合事務組合議会定例会、会津縦貫道整備促進期成同盟会福島県要望（福島市） |
| 2 日 | 福島県教職員組合南会津支部長来庁、南会津建設事務所長来庁 | 2 3 日 | 雪まつり実行委員会 |
| 4 日 | 国道289号線建設期成同盟会福島県要望（福島市） | 2 4 日 | 医療法人社団しただ理事長他来庁、明治安田生命保険相互会社坂下営業所長来庁、事業承継セミナー、福島県法人会連合会女性部会連絡協議会会員研修会南会津大会、福島県市町村対抗軟式野球・ソフトボール大会結果報告会 |
| 6 日 | 河井継之助没後157年祭法要、八丁沖の戦いを偲ぶ会（新潟県長岡市） | 2 6 日 | 只見米フェス、只見地区J Aまつり、只見ウォーク |
| 8 日 | 定例庁議 | 2 8 日 | 南会津地方広域市町村圏組合事務局長来庁、南会津地方環境衛生組合事務局長来庁 |
| 9 日 | 県道小林館の川線改良促進期成同盟会福島県要望（福島市、南会津町） | 2 9 日 | 会津鉄道(株)及び野岩鉄道(株)次期経営計画説明会、南会津地方町村会役員会（南会津町）、福島県猟友会南会津支部定期総会懇親会 |
| 1 0 日 | 福島県企画調整部長訪問（福島市） | 3 0 日 | 朝日診療所所長業務契約調印式、朝日診療所所長着任式 |
| 1 1 日 | 東北電力ネットワーク(株)田島電力センター所長来庁 | 3 1 日 | 福島県知事と懇談、福島県病院局訪問、ふくしま復興・未来の森づくり基金寄贈式、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会役員会（福島市） |
| 1 3 日 | 只見町駅伝競走大会 | | |
| 1 6 日 | とうほう証券(株)来庁 | | |
| 1 7 日 | 福島県公立学校退職校長会南会津支部長来庁、政策調整会議 | | |
| 1 8 日 | 只見特産(株)取締役会 | | |
| 1 9 日 | 三条市・只見町商工会八十里越交流事業市内視察・交流懇談会・懇親会（新潟県三条市） | | |
| 2 1 日 | 只見町議会10月会議 | | |

町民の消息

(9月26日～10月25日届出分)敬称略

■おくやみ申し上げます

菅 家 恒	92歳	黒 谷	
星 伊佐雄	88歳	荒 島	
湯 田 房子	95歳	布 沢	
須 佐 洲 子	92歳	只 見	
吉 津 ヤチヨ	67歳	長 浜	
横 山 至 伯	91歳	樋 戸	
長谷部 義 一	84歳	入叶津	
五十嵐 エ ン	97歳	長 浜	
吉 村 政 幸	76歳	只 見	
目 黒 英 治	76歳	熊 倉	
飯 塚 ユ リ	54歳	坂 田	
酒 井 京 子	92歳	只 見	
鈴 木 玲	85歳	布 沢	

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和6年10月1日現在

人 口	3,568 (-5)
男	1,768 (-3)
女	1,800 (-2)
世 帯 数	1,531 (+3)
高齢化率	48.8%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 10 転出 6 出生 0 死亡 9

▽10月末に紅葉の写真を撮影しに田子倉方面に向かった際、国道252号・六十里越を通行される車両の台数が非常に多く、また田子倉無料休憩所にも10台ほど自動車が進んでおり、紅葉シーズンの来町者の多さを改めて実感しました。

▽朝晩の冷え込みが強くなり、体調を崩しやすい時期です。皆様も体調にはお気を付けてお過ごしください。

(小林)

あとがき

明和公民館 図書紹介

明和公民館図書室
☎86-2111

おすすめ新着図書

☆サンショウウオの四十九日



【著】朝比奈 秋 (新潮社)

同じ身体を生きる姉妹、その驚きに満ちた普通の人生を描く。

周りからは一人に見える。でも私のすぐ隣にいるのは別のわたし。不思議なことはない。けれど姉妹は考える、隣のあなたは誰なのか？

そして今これを考えているのは誰なのか——三島賞受賞

作『植物少女』の衝撃再び。最も注目される作家が医師としての経験と驚異の想像力で人生の普遍を描く、世界が初めて出会う物語。

2024年第171回芥川賞受賞作品。

☆そんなこともしらないの？

【作】パク ジョンソプ

【訳】中山よしゆき (フレーベル館)



あか、き、あおなど色とりどりの小さなサカナたちが群れを作っているところに、「あかいサカナがかぜをひいてるってさ〜」という声。それは、はらぺこアンコウが流したウソの情報。そうとはしらず、サカナたちは大パニック。うつったりしたらいへん！

群れから追いだされたあかいサカナは、アンコウのお腹のなかへ。するとアンコウは、きいろいサカナもかぜをひいているといいだして…。

情報がホントかウソかわけるためには、どんなことに気をつければいいのかな？ サカナたちの会話をクスッとわらいながら、考えてみよう。

☆明和公民館ではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

町民憲章

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



(写真・文 太田祥作)

カワヤツメ (学名: *Lethenteron camtschaticum*)

【ヤツメウナギ目ヤツメウナギ科】



▲ 成体 (11月, 荒島の用水路にて採集)



▲ 水路を泳ぐアンモシーテス幼生 (6月)

ヤツメウナギはたいへん原始的な脊椎動物で、名前にはウナギとありますが、ウナギどころか魚類でもありません。この仲間は顎を持たないことから「無顎類」と呼ばれます。約5億年前の古生代カンブリア紀に現れ、太古の海で繁栄しましたが、今ではその仲間の殆どが絶滅しています。

一对の眼の後ろに七対の鰓孔があり、「目が八つあるように見える」のが「ヤツメウナギ」の由来です。成長過程で変態することでも知られており、最初は眼すらない「アンモシーテス幼生」として誕生し、変態すると眼をもった成体となります。野外で見られるヤツメウナギのほとんどはアンモシーテス幼生で、成体は滅多に見られません。

今回取り上げるカワヤツメも、只見町に生息する風変わりなヤツメウナギの一種です。カワヤツメは一般的には回遊性であり、川で生まれ変態した成体は海に降り、数年かけて成長したのち、川に戻ってきて産卵します。ところが、只見町には海に降ることなく川で一生を終える「河川型」と呼ばれるタイプが生息しています。これは全国的にも珍しく、福島県のレッドリストでは「絶滅のおそれのある地域個体群『阿賀野川水系のカワヤツメ河川型』」に位置付けられています。町内では伊南川本流や布沢川などで確認されており、堀払いの際に見たという話も聞かれます。また、かつては食卓にも上っており、脂が多く美味しかったそうです。



▲ 成体の口。
吸盤状で顎はない

只見町ブナセンターからのお知らせ

下記イベントを開催しております。詳細は只見町ブナセンター (電話 0241-72-8355) までお問い合わせください。

企画展「誕生から10年。」

只見ユネスコエコパークのここまでを振り返り、これからを考える」

会期: 2024年4月27日(土)~11月4日(月・祝)

場所: ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー